

第234回撮影例会報告

報告者 田中幹事

日時：平成26年8月16日（土） 9：00－11：45 天気 晴れ 参加者 8名
撮影場所 熊野神社、朝比奈切通し 撮影対象 ヤブミョウガ、熊野神社周辺、切通し風景

お盆の暑い中8名の熱心な会員が鎌倉駅に集合した。予定の熊野神社のヤブミョウガは、花が過ぎて白い実になっていることが下見で分かっていたのでどうするか相談した。白い実は遠目には小さな白い花と似ていること、切通しの風景を撮影できること、他にあまり良い撮影対象が無いことから、予定通り朝比奈切通しに向かうことにした。

鎌倉駅東口前から9：30発の金沢八景行きのバスに乗り、横浜市金沢区の「朝比奈」バス停で下車した。朝比奈切通しはご存知の通り鎌倉幕府が開いた鎌倉七口の一つで、今でも昔の趣が感じられる。元々は金沢六浦港から鎌倉へ通じる重要路線として作られたが、今は鎌倉市十二所と横浜市金沢区朝比奈町の間が、鬱蒼とした森の中を歩く静かな遊歩道になっていて、国の史跡に指定されている。バス停の近くに案内標識があり、それに沿って進んだ。程なく山道の入り口になり、庚申塔の横を通って上り坂を進んだ。10分ほど歩いた所で直進は朝比奈切通し、左が熊野神社の分かれ道があり、まずは左に進んだ。林の中の小道を暫く進むと、鎌倉の鬼門の守り神として建てられたと言われる熊野神社の下に着いた。

神社の下の杉林の中の広い場所一面に、ヤブミョウガの群落があった。白い小さな花を付けているように見えるが、近くで見ると既に白い小さな実になっていた。今年は暑さのせいか花が早く咲いたようで、鎌倉の百日紅も同様である。ヤブミョウガの良い状態、杉の木立の並びなどを考えて立ち位置を決めて撮影した。奥の背景に熊野神社の鳥居、石段の上にある神社を入れたショットも撮った。また神社に上がる石段の途中からヤブミョウガを俯瞰した写真も狙った。神社の横には杉の巨木があり、構図を工夫して撮影した。神社の上方の道に上がって撮影する人もいた。群落の横の杉の道も味わいのある被写体になった。ただ残念なことにこの風景を撮るには天気良すぎた。小雨か雨上がりの薄日がベストだが、団体で予定した日取りに行く撮影では、天気を選べない。筆者が下見に行った時は、薄曇り日を選び撮影条件がもう少し良かった。皆さんも来年以開花の時期と天候を選んで、再度挑戦されることを期待します。

40分ほど撮影したところで切り上げ、元の道を分かれ道まで戻り、朝比奈切通しの道を進んだ。まず切通しの切り開かれた崖と苔むす石の道を撮影した。すぐに頂きを越えて下り坂に入り、所々水でぬかるんだ道を下った。そそり立つ削られた厳しい崖、石に刻まれた石佛や道端の地蔵、水の流れる坂道など夫々に被写体を見つけて撮影しながら進んだ。峠道の終わり（鎌倉側の入り口）に、三郎の滝と呼ばれる小さな滝があり撮影した。この滝を含めて朝比奈切通しの風景は秋が撮影の好機であろう。ここで撮影を終わり、11：45に「十二所神社」バス停に着いて今日の例会を終わった。ここからバスで鎌倉駅に向い全員で昼食を採りながら楽しく懇談した。

Photo by Tanaka

